

令和	6	年度	事業者番号	0462	事業所番号	046205
----	---	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	埼玉県吉見浄水場	
事業所所在地	市区町村	比企郡吉見町
	字・地番	大字大和田198番地
産業分類名(中分類)	36 水道業	
分類番号(中分類)	36	
事業活動の概要	事業内容	事業内容 水道用水供給事業 従業員数 21名 送水量 年間45百万m3

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	【第3計画期間】基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	25,732	t-CO ₂	事業所区分 第2区分		
	削減目標量(計画期間合計)	6,433	t-CO ₂			

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	3,379	3,484	3,327	3,403	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂		6,417	6,640	6,419	6,435	
	前 年 度 比（％）	—	3.5	-3.3	0.2	
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 室 素					
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 室 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		6,417	6,640	6,419	6,435	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ 排 出 量 原 単 位		0.1434	0.1444	0.1519	0.1444	
	前 年 度 比（％）	—	0.6	5.2	-5.0	
活 動 規 模 の 指 標 単 位						
生産量		千m ³ /年	44,739.87	45,998.36	42,250.76	44,564.10

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	場内工事の影響により生産量（送水量）が減少したことでCO2排出量が減少した。					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	2022年1月から、太陽光発電設備の一部が故障、発電を停止していること、また生産量（送水量）が増加したことでCO2排出量が増加した。					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	場内工事の影響により生産量（送水量）が減少したことで、CO2排出量が減少した。					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	送水量が増加したことでCO2排出量は微増したが、施設能力に対し適正な送水量となったことで原単位は改善した。					
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	6,433	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量（t-CO ₂ /年）
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

（排出量等の単位：t-CO₂）

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量等	基準排出量(A)	6,433	6,433	6,433	6,433	6,433	32,165
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	
	排出上限量 (C = Σ A-D)						25,732
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))						6,433
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	6,417	6,640	6,419	6,435		25,911
	削減率 (F = (A - E) / A)	0.25%	-3.22%	0.22%	-0.03%		—
	排出削減量 (G = A - E)	16	-207	14	-2		-179
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	未実施		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)	
	区 番	分 号	区 分 名 称					
								大 区 分
1	360700		ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	雨水返送ポンプ効率の運転（消費電力が少なくなるよう調節弁を運用する）	R1以前	4.0	
2	360700		ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省エネVベルトの採用	R1以前	1.0	
3	380700		照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明設備の人のセンサー採用による消灯	R1以前	5.0	
4	380700		照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	事務所照明の個別スイッチ設置による個別消灯	R1以前	2.0	
5	490100		その他	49_排出量取引	企業局内他の大規模事業所との間で排出量取引	R1以前		
6	340500		発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	太陽光発電設備の設置	R1以前	218.0	
7	370700		電動応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	急速攪拌機の運転台数削減	R1以前	65.0	
8	360700		ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	場内ポンプ運用の適正化（取水ポンプ、雨水調整池返送ポンプ、汚水池返送ポンプ）	R1以前	76.0	
9	360700		ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	送水圧力低減	R2	295.0	
10	380700		照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明設備のLED化	R6	2.0	
11	360700		ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	表洗ポンプ電動機の高効率化	R6	0.2	
12	330200		空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	高効率空調への更新	R5	R5	0.4
13	340500		発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	太陽光発電設備の増設	R6		30.0
14	360700		ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	送水圧力の低減（上赤坂2系流量調節弁開度の変更）	R5	R5	56.0
15	360700		ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	汚泥濃縮槽攪拌機の間欠運転	R5	R5	1.0

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

